# ワンダーアイランド

ヒソカ＝ブラック

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

## 注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。

この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ワンダーアイランド

【Ｎコード】

Ｎ０４９５Ｄ

【作者名】

ヒソカ＝ブラック

【あらすじ】

クリアすれば、どんな望みも３つ叶えてもらえると言うゲームワンダーアイランドの噂を聞いて主人公、闘奇とその友達、操がはるかなる大冒険に出る果たして・・・

# 第1話　いくぜワンダーアイランド（前書き）

完全オリジナルの自身作です

# 第1話　いくぜワンダーアイランド

千堂　闘奇（俺は、センドウトウキ１６歳、今日は、一つ気になる情報を入手したんで、ダチの、時任操（トキトウミサオ）と、ともに、例の場所に向かっていた！！）

３日前（不死身高校）

クラスメイトＡ〔知ってるー？？１３日の金曜にだけ、出現する、謎の店だよ！！〕

クラスメイトＢ〔知ってる知ってるー！！なしにしろ、不思議なゲームを販売してるみたいなんだよ！！〕

クラスメイトＡ〔そうそう、そこの店のゲームをクリアするとどんな望みでも、３つ叶えてもらえるんだろ！！〕

クラスメイトＢ〔いいよなー！！でもよ、噂によるとそのゲームを体験した人がどんどん消息不明になってるらしいぜ！！

クラスメイト〔そうそう、不思議な話だよなー〕

闘奇〔おい、そりゃ、どこにあんだよ！！ちょうど3日後は、１３日の金曜だぜ！！〕

操〔あぁ、俺たちがその、ゲームクリアして、ぐふふっ、やりたい放題だぜ〕

そして、金曜の

闘奇〔ついたー不気味な店だなー〕

操〔あぁまったくだぜ〕

闘奇〔すぁーせん！！〕

老婆〔お客さんかい〕

闘奇〔婆さん噂のゲームとやらに、参加させてもらいたいんだが〕

操〔やい、婆さん早く早く〕

老婆〔あんたら、ここに来たて言うことはそれなりの覚悟あって来たんぢゃな〕

闘奇〔覚悟だと〕

操〔どーゆーことだ〕

老婆〔このゲームをクリアできなかったら、あんたら、死ぬよ〕

操〔なんだとー〕

老婆〔ワシが販売してるゲーム（ワンダーアイランド）は、ゲームの世界に入り込んで、その世界に散らばる、５２枚の、不思議トランプ手に入れて、現実世界に戻ってこれたら、クリアぢゃ、シンプルだが、もしゲーム内で、数々の刺客に殺されたらそのまま本当に死ぬ、そして、トランプを集められずに、敵にも、殺されずに、怯えながが、ゲーム内に閉じ込められた、プレイヤーは、数多くいる、〕

闘奇〔おもしれぇーじゃん〕

操〔あぁワクワクしてくるぜー〕

老婆〔では、参加するのだな??〕

闘奇&操〔もち参加だ〕

老婆〔よし、先程は、ゲームの大まかな説明しかしなかったが、公式ルールブックに基づいて説明しようまず、プレイヤーの最大の目的は、全52枚の不思議トランプを集めることだ、そして、52枚のうち、ハート、クローバー、クラブ、ダイヤのエースは、このゲーム内に一枚ずつしか存在しない。
他は、まぁそれなりの枚数は、ある何せ他のプレイヤーもいるわけぢゃからなー!!あっそれと、たった一枚シークレットトランプが存在するが、それは、自らで見つけだすんだ、　次に現在プレイヤーは、生存者のみで500人ってとこぢゃ、そして、ワシが送り込んだ、ゲーム内の刺客が数名存在する、奴らは強いぞ!!
次に、ゲーム内にワープする前に、この（マジックビーンを食べるんじゃ、一人一つな、これば体内に潜在的に眠る力を呼びさます、魔法の豆ぢゃ、3つ特殊能力がそなわる!!そして、これが、マジカルステレフォン、これば、ゲーム内専用ケータイとでも、言っておこう、知り合ったプレイヤーとアドレス交換や、ステータス画面を開けば、自分の現在の戦闘レベルを見る、所持金の確認、そして、メモや電卓昨日カメラなどまぁ、そんなもんが能ぢゃ、これを一人ずつに渡す。あとは、ゲーム内で自らを鍛え、他のプレイヤーとの戦いにそなえたり、能力や魔法を研いたり好きにせい!!

最後に、ゲーム内での名前ぢゃがー

闘奇&操〔もちろん、このまんまだ〕

老婆〔よしでは、さらばじゃー！！〕

闘奇＆操〔うわぁー〕

こうして、二人の冒険は、始まった

# 第2話〔発見　俺たちの能力はこれだ！〕（前書き）

完全オリジナルストーリー

## 第2話〔発見　俺たちの能力はこれだ！〕

闘奇&操〔ここが、ワンダーアイランドかぁー〕

闘奇〔ゲームの世界とは、思えない、現実世界みたいだ〕

操〔あぁ、同感〕

闘奇〔とりあえず、腹ごしらえしよーぜ〕

操〔でもよー金がねぇーぜ〕

飯屋〔はぁーい大食いチャレンジ、ジャンボハンバーグを15分以内で完食できたら、一万ゼニープレゼントだよー！！〕

操〔うしゃー飯食えて、金も儲かるなんて魅力的〕

闘奇〔おぅしいきまっか〕

飯屋〔それではースタート〕

闘奇〔ごちそーさん〕

操〔うまかったぁー〕

飯屋〔あんたらすごいねーほらよー一万ゼニーだ〕

操〔サンキューぐひひっ〕

闘奇〔やったな〕

操〔よし、キャバクラいくぞー〕

闘奇〔お前のそーゆとこキライ〕

操〔だとー〕

闘奇〔やるかぁー〕

女の人〔きゃー〕

闘奇〔そうだけどなにかぁー??〕

操〔どうかしましたか、お嬢さん〕

ダイゴ〔オラオラ、トランプよこせよお嬢ちゃん〕

女の人〔やめてください〕

闘奇〔おい、デクノボーくんよくないよーそゆーの

操〔でかけりゃいいってもんぢゃねぇよなー〕

ダイゴ〔なんだてめぇら、まさか、新入りのプレイヤーか??〕

操〔まあね、うしし〕

闘奇〔バカ〕

ダイゴ〔まぁいいや、俺様とやるのかー〕

操〔めんでぇーいくぜ〕

ダイゴ〔ボンバータックル！！〕

操〔うわぁー！！〕

闘奇〔操ー〕

操〔なんちって！！俺様に勝てると思ったのかよ！！うりゃー〕

ダイゴ〔ま、まいったー返すよ〕

女の子〔ありがとうございます〕

操〔いゃあーなんのなんの〕

女の子〔私、プレイヤーのリリィです〕

操〔操よろしく〕

闘奇〔闘奇だ〕

リリィ〔お二人は、能力や魔法も使わないでそこまで強いなんて、すごーいです

闘奇〔いや、豆は、食ったんだけど今イチ使い方がー〕

リリィ〔それなら、私いいもの持ってます！！ライブラ眼鏡と言うアイテムです！！これは、相手の、特殊能力や魔法などを見るアイテムです！！ただし効果は、三人まで。では、まず闘奇さん〕

（キラン）

リリィ〔闘奇さんは、特殊能力、乱れ打ち、魔法、シャイン、魔法、十万ボルト乱れ打ちは、素手なら相手に、一瞬で何十発ものパンチができる業、シャインは、相手の目を暗ます魔法、十万ボルトは、雷系の魔法です！！操さんは、特殊能力は、エルボクラッシュ、疾風拳、魔法は、フレイムです。エルボクラッシュ、はその名の通り強烈なエルボ、疾風拳は、相手のきゅしょを、疾風の如く攻撃します。フレイムは、炎系の魔法です〕

闘奇＆操〔なるへそわかったぞー潜在的な力がわかつたぁサンキューリリィちゃん〕

リリィ〔いえいえ〕

闘奇〔よし、あとは、業や魔法研いて鍛えるのみだ〕

操〔あぁそうだな！！〕

リリィ〔でわ、また、どかで合えたらいいですね！！〕

操〔かわぇえ娘だったぜ〕

闘奇〔さて、ケータイの、Ｙモードでワンダーアイランドの全体マップだしたぜ！！〕

操〔よっしゃ、これで、怖いものなしだー

闘奇〔とりあえずレアなトランプからゲットしてくが〕

操〔そうだな、カストランプなら、そこらの雑魚からちょうだいしちゃえばいいぜ〕

闘奇〔スペードのエースの場所わかったぜ！！〕

操〔おっ、ここから東にある、ラミアスの森にあるらしいぜぃ〕

そしてそして

操〔遠いなぁー〕

モンスター〔ガハガハ〕

闘奇〔おでましか！！まぁ退屈だったしな！！〕

操〔エルボクラッシュ！！〕

モンスター〔ぐぁー〕

闘奇〔乱れ打ち！！〕

モンスター〔ぎょーえ〕

操〔だいぶ使いこなしてきたぜ〕

闘奇〔もとが強い俺たちがこんな業つかえたらまえるはずねぇぜ〕

そしてそして

操〔ついたあー〕

闘奇〔ここが森の入り口かぁー〕

??〔紀様ラ死にたいのか??〕

闘奇〔誰だーぁー〕

ツーリー〔俺は、ラミアスの森の入り口を番している、ツーリーだ

闘奇〔ほう、俺らが粉砕してやるぜ〕

ラミアスの森の入り口番ツーリーの実力とはいかにー

## ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n0495d/

ワンダーアイランド

2010年10月31日03時17分発行